

総務民生委員会会議録

- 1 日 時 令和2年3月12日(木曜日)
午後2時40分～午後2時52分
- 2 場 所 委員会室
- 3 出席委員 末 永 義 美 委 員 長 高 木 法 生 副 委 員 長
 竹 岡 昌 治 委 員 安 富 法 明 委 員
 山 中 佳 子 委 員 三 好 睦 子 委 員
 岡 山 隆 委 員 杉 山 武 志 委 員
- 4 欠席委員 な し
- 5 委員外出席議員
 荒 山 光 広 議 長
- 6 出席した事務局職員
 石 田 淳 司 議 会 事 務 局 長 阿 武 泰 貴 議 会 事 務 局 係 長
 篠 田 真 理 議 会 事 務 局 主 任
- 7 説明のため出席した者の職氏名
 波 佐 間 敏 副 市 長 田 辺 剛 総 務 部 長
 松 永 潤 消 防 長 有 吉 武 士 消 防 次 長
 竹 内 正 夫 総 務 課 長 佐々木 昭 治 財 政 課 長
 市 村 祥 二 監 理 課 長
- 8 会議の次第は次のとおりである。

午後2時40分開会

○委員長（末永義美君） ただいまより、総務民生委員会を開会いたします。

それでは、先ほどの本会議におきまして、本委員会に付託されました市長提出議案1件につきまして審査してまいりたいと思いますので、どうぞ御協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

それでは、議案第37号美祢市消防庁舎・消防防災センター建設工事の請負契約の締結についてを議題といたします。執行部より説明を求めます。有吉消防次長。

○消防次長（有吉武士君） それでは、議案第37号美祢市消防庁舎・消防防災センター建設工事の請負契約の締結について御説明をさせていただきます。

議案書1ページを御覧ください。

この工事は、防災拠点として消防庁舎等の機能の充実を図り、安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進するため、消防庁舎・消防防災センターを旧大嶺高校敷地に建設するものです。

記として契約書の抜粋を記しております。

1 契約の目的は、美祢市消防庁舎・消防防災センター建設工事、2 工事場所は、大嶺町東分地内、旧大嶺高校敷地、3 工期は令和3年3月25日までとし、4 契約の方法につきましては、条件付一般競争入札といたしました。5 契約金額は、10億7,360万円で、これには消費税及び地方消費税分9,760万円を含んでおります。6 契約の相手方につきましては、去る2月13日に入札を執行し、落札者となりました飛鳥建設・高山産業・西田産業特定建設工事共同企業体との契約です。

次のページ、参考資料を御覧いただき、設計概要について御説明いたします。

1 工事の概要、建築面積は、庁舎棟・訓練棟・倉庫棟・駐輪場ほか合計で2,805.04平方メートル。

2 主要設備として、庁舎は等級3の耐震性能を有し、署・本部事務室はフリーアクセスフロアとし、オーバースライダーシャッターを車庫に装備します。また、庁舎外の設備として、自家用発電装置、自家用給油装置、出動警告盤、高所監視カメラ、訓練棟につきましては、職員の救助大会競技種目へ対応、また市民の消火・避難訓練への対応等、各種災害に対応する訓練が実施可能な仕様としております。

3 請負者の状況は記載のとおりです。

また、本整備の――本事業の進捗報告書、事業概要、施設イメージ図を改めて資

料提出しておりますので、参照をお願いいたします。

以上で説明を終わります。

○委員長（末永義美君） 説明が終わりました。本案に対する質疑を行います。質疑はございませんか。安富委員。

○委員（安富法明君） お答えができればなんですが、前の予算額を覚えてないんですが、契約金額10億7,360万円は、入札減がどれぐらい出てるか分かりますでしょうか。

○委員長（末永義美君） 松永消防長。

○消防長（松永 潤君） 安富委員の御質問にお答えをします。

予算額と比較をして9,240万円の減で、落札率は92.08%であります。

以上です。

○委員長（末永義美君） よろしいでしょうか、安富委員。ほかに質疑はございませんか。三好委員。

○委員（三好睦子君） 入札が何社あったのでしょうか。飛鳥建設って、東京の会社のようなのですが、飛鳥建設がいけないっていうのはありませんが、何社あったのでしょうか。

○委員長（末永義美君） 市村監理課長。

○監理課長（市村祥二君） ただいまの三好委員の御質問にお答えいたします。

本工事につきましては、条件付一般競争入札ということでお話ししたところ、3企業体の申込みがございました。

参考までに申し上げますと、奥村組・秋山建設・大和建设特定工事共同企業体、次に、鴻池組・ユウエイ・厚保工務店特定工事共同企業体、それから、飛鳥建設・高山産業・西田産業特定工事企業体の3社でございます。

以上でございます。

○委員長（末永義美君） よろしいですか。ほかに質疑のほうはございませんか。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 今後の消防新庁舎ですけれども、この建物の契約金額、今言われたとおりで10億7,360万円ということで、この新庁舎にあたって、今までより消防庁舎、比較してどれほど機能性についてよくなったのか。これについて、説明できればお願いいたしたいと思います。

○委員長（末永義美君） 松永消防長。

○消防長（松永 潤君） 岡山委員の御質問にお答えします。

新消防庁舎の機能であります。まず、この庁舎、消防防災センター建設に当たっての基本理念は、防災教育の拠点、災害に強い安全・安心な庁舎であります。これを実現するために設計等を行ってきました。

主な整備に当たって、これよりも勝る部分としては、まず防災機能能力を備えておりますので、消防団、消防本部はもちろんですけど、それと市民の皆さんに実際に防災施設、また訓練等を体験していただける機能があります。

次に、市の防災機能の補填をする、バックアップ機能を有する機能を有するようにはしております。大規模な災害が発生した場合には、当然応援の機関がたくさんこちらに来るわけですけど、それを賄われるスペースを持ってありますし、最終的には、防災センターで災害対策本部がバックアップできる機能を有するようには考えております。

そのほか、職員の環境の——環境機能を上昇させております。プライベートスペースを設けて、職員のストレスが軽減できるように個室化を図っているところであります。

主な最新設備といいますか、整備に当たっての機能向上は以上のところで。

以上です。

○委員長（末永義美君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） それで、耐震性能等、例えば、美祿市は地震が少ないところでもありますけれども、震度6、7この辺のところについては、どの程度消防庁舎は耐え得るのか。ここの拠点が機能を失ったら大変なことになりますので、その辺についての対応はいかなものかを伺いたいと思います。

○委員長（末永義美君） 有吉消防次長。

○消防次長（有吉武士君） 岡山委員の御質問にお答えします。

庁舎の耐震性能ということですけど、等級の3を確保しております。等級の3といいますが、等級1の1.5倍と言われております。等級の1といいますが、震度6強から震度7の地震が発生をしたときに即時倒壊はしない——即時倒壊はしませんが大規模な補修が必要になる建物のことで、一般的な建物、一般市民の方の住居に相当するものです。

等級の2といたしますが、同じく震度6強から震度7の地震が発生したときに、大規模な補修が、——それなりの補修が必要になると。1よりは性能が——耐震の性能が高いものです。

等級の3は、等級の1の1.5倍、同じく6強から7の地震が発生をしたときに、軽微な補修で、従来どおりの運用が可能であるというレベルのもので、消防庁舎に求められる耐震性能は、等級の3が求められております。

今回、設計をしております消防庁舎も、その性能は確保しております。

以上です。

○委員長（末永義美君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 今、説明がありました耐震性能については、等級3ということで、もう6強から7ということで、かなり揺れがあっても、耐え得るような消防庁舎ということを確認しました。

これ以上のものはないということでもいいんですかね。最後に、もし答弁できれば。

○委員長（末永義美君） 松永消防長。

○消防長（松永 潤君） 岡山委員の御質問にお答えします。

耐震性能につきましては、今、次長が御説明したとおり、美祢市で想定される地震においては、機能をしっかりと有して活動ができる耐震性能を有しております。

以上です。

○委員長（末永義美君） よろしいですか。ほかに質疑のほうはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（末永義美君） それでは、質疑なしと認め、質疑を終わります。

それでは、これより討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（末永義美君） 御意見なしと認めます。

それでは、これより議案第37号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（末永義美君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本会議で本委員会に付託されました議案1件につきましての

審査を終了しました。

そのほか、委員の皆さんから所管事項につきまして何かございましたら、御発言のほうをお願いします。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（末永義美君） ほかにないようでしたら、これにて本委員会を閉会いたします。御審査、御協力、誠にありがとうございました。

午後4時36分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和2年3月12日

総務民生委員長